

ふれあい

vol. 25
平成23年10月

今回の特集は

眼科・硝子体手術について



眼科 南部浩隆医師とスタッフです。
明るい雰囲気の中、診察を受けて
いただけるよう心がけています。

新任医師の紹介

健康コラム 食生活を見直しましょう

旬の野菜で健康に きのこと

 **林病院**

〒915-8511 福井県越前市府中一丁目5番7号
電話. 0778-22-0336 FAX. 0778-23-4014
e-mail. hp-hayasi@ma.interbroad.or.jp
URL. <http://www2.interbroad.or.jp/hayasi/>

理念

わたしたちはあなたとともに
納得して受けられる医療 安心して受けられる医療を めざします

基本方針

地域一般病院として急性期医療を行います
患者さまの権利を尊重し十分な説明のある医療を行います
地域の医療機関と連携し連続した医療を行います
健康寿命の伸長をはかる医療・在宅サービスを行います
人間ドック・健康診断などの予防医療を行います

眼科・硝子体手術について

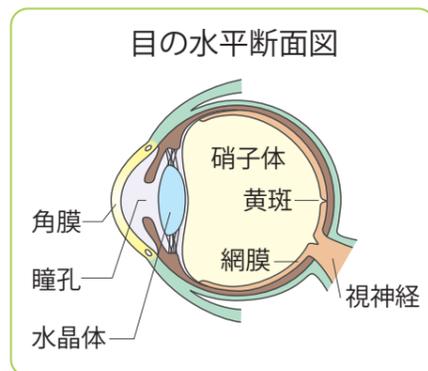
眼科
南部 浩隆
なんぶ ひろたか



はじめに

硝子体とは、眼球の水晶体・毛様体の後方から網膜の前面までを満たすゼリー状の物質のことです。眼球の形を保持し、網膜を内側から支える働きをしています。

眼の奥に生じた様々な疾患により、硝子体が網膜を牽引したり、炎症を長引かせたり、出血によって網膜に光が届きにくくなる、という状態になった時、硝子体を取り除く手術が行われます。硝子体はそれほど重要な役割がある組織ではないので、切除しても視覚に直接的な影響はありません。この手術によって、以前では治療が困難といわれていた重症の病気でも、治る例が増えています。



手術方法について

この手術は局所麻酔で行います。手術に要する時間は、疾患や患者さんの状態にもよりますが1～3時間程度です。

通常硝子体手術は、白内障手術と同時に行います。すでに白内障の手術を受けている方は、硝子体手術のみ行います。白内障の手術を行う目的は、白内障があると手術中に網膜を見ることが困難になり硝子体手術が難しくなるためです。また水晶体を残して硝子体手術を行うと、網膜の周辺部にある硝子体を切除することが困難なためです。

硝子体手術の手順としてまずは、眼球に手術機器

を挿入するための入り口を3箇所あけます。そこから、硝子体切除用のカッター、眼内を照らす照明または内視鏡、硝子体の変わりとなる灌流液を注入する器具を挿入していきます。最初に硝子体を切除し、その後、症状に応じた網膜の処置を行い、網膜の機能を回復させます。疾患によっては、網膜を押さえるため、硝子体を取り除いた部分に空気や特別なガスを注入します。この場合、手術後1週間程度ベットで下向きの姿勢で安静にする必要があります。

入院期間は、各疾患や手術内容により異なりますが、目安としては約1週間から2週間程度です。

当院の手術機器について

当院では、現在日本で最新の白内障・硝子体の同時手術が可能な手術装置である The Alcon CONSTELLATION® Vision System を使用して手術を行っています。福井県内には2台のみ導入されて

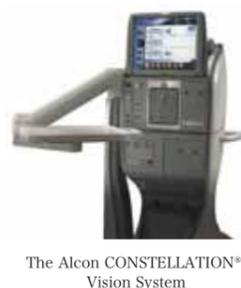
おり(2011年8月現在)、そのうちの1施設が当院であります。

手術では眼球の白目の部分に穴をあけますが、20ゲージ(径0.9mm)硝子体手術より傷の小さい23ゲージ(径0.7mm)硝子体手術を行っています。25

ゲージ(径0.5mm)硝子体手術というさらに傷の小さい手術もありますが、23ゲージ硝子体手術と比べて手術効率が格段に悪いと考えられています。

23ゲージ硝子体手術は、20ゲージ手術の長所を持ち、かつ25ゲージ手術の短所を補う手技と考えられています。今後周辺機器の開発などにより、もっと安全で効率よく25ゲージ手術などが行われるようになって、当院の硝子体手術装置であれば、スムーズに移行することも可能あります。

当院では最新の設備を用いて、低侵襲でしかも安全性の高い硝子体手術を心がけております。



The Alcon CONSTELLATION® Vision System

手術の対象となる疾患

糖尿病黄斑症

糖尿病網膜症が進行したものはもちろん、比較的軽度のものでも網膜の中心部の黄斑部に浮腫が生じる黄斑症が起きる場合があります。黄斑症が起きると他の部分の網膜が正常であっても極度の視力低下が起きます。

黄斑症が起きた場合は、黄斑部に網膜光凝固術を行い、これが無効なら硝子体手術を行うか、最初から硝子体手術を選択する場合があります。硝子体手術により後部硝子体膜を含んで硝子体を除去すると、黄斑部の浮腫が消失する可能性があります。硝子体手術によって視力が改善するのは約70%程度と考えられおり、残り約30%の患者さんでは視力が改善しないか、視力がかえって低下する場合があります。しかし浮腫を放置すれば、いずれ視力低下が進行します。

糖増殖性糖尿病網膜症

糖尿病の罹病期間が長く、糖尿病の状態が悪い患者さんは、糖尿病網膜症が単純性のものから前増殖性、増殖性網膜症へと進行します。

増殖性糖尿病網膜症の場合、新生血管や増殖膜が網膜上に存在します。新生血管はその構造が弱い為に出血しやすく硝子体出血を来します。硝子体出血により極度の視力低下が起きた時は、硝子体手術によりその出血を除去する必要があります。

網膜上の増殖膜は牽引性の網膜剥離を起こし放置すると失明につながる場合があります。これを防ぐ目的で硝子体手術を行い、増殖膜とその温床となる硝子体をできるだけ切除します。また、手術中に周辺部の網膜に光凝固を行い、新生血管の発生や増殖膜の再発を予防します。

黄斑上膜

黄斑部に異常な膜が生じ、黄斑を牽引して、ものが歪んで見えたりする症状が出ます。進行すると視力が低下します。手術で硝子体を切除し、網膜上の異常な膜を剥離・除去します。必要があれば、さらに内境界膜(網膜の最表面の膜)を染色し見えるようにしてから剥離・除去します。

黄斑円孔

黄斑部に小さな孔が生じ、視力が著しく低下します。この場合は、硝子体を切除し、内境界膜を染色し剥離、除去します。そして、眼内に空気を注入し、網膜を空気で押さえておきます。時間が経過すると小さな網膜の孔、つまり黄斑円孔が閉鎖されて、黄斑の機能が回復し視力が改善する可能性があります。

網膜剥離

黄硝子体の老化に伴う収縮により網膜が硝子体線維に引っ張られ網膜に孔があき、その孔から網膜の下に液体が浸入して網膜が剥がれる病気です。硝子体手術により網膜を引っ張っている硝子体切除します。さらに空気を眼内に注入し網膜の下にある液体も全て除去し網膜を正常の位置に戻します。網膜の孔は周囲をレーザーで凝固し再び網膜が剥がれないようにします。

その他

いろいろな原因で硝子体出血、硝子体混濁、黄斑浮腫、網膜剥離を起こす場合が他にもあります。このような場合も硝子体手術を行い、硝子体を切除し出血や混濁を除去します。さらに、必要があれば増殖膜などを切除し網膜を正常の位置に戻すことが必要になります。



内科・循環器科 森島 繁 医師

もりしま しげる

8月より、林病院に着任致しました森島です。

2003年より、福井医大(現 福井大学)に赴任してから、福井県暮らしもこれで約7年が過ぎました。大学では、未来の医師を育て、新しい薬物療法を開発するという、医師としてはいささか裏方の仕事をして参りましたが、この度、再び地域医療の第一線に向き合った活躍の場を与えていただき、大変感謝致しております。

私の専門は循環器内科、なかでも心臓電気生理学です。これまで、細胞上に存在するイオンチャネルの研究というミクロの分野から、一般不整脈までを主に手がけてきました。不整脈で苦しんで来られた方が、抗不整脈薬の注射一本・処置一つで楽になられた時の、医師としての満足感(自己満足?)は、私にとって捨てがたいものがあります。

循環器疾患の治療は(他の分野と同じく)、日進月歩です。自分をしっかりと磨き、医療に関するすべての方と強く幅広く協力しながら、病気に苦しんで林病院に来ていただいたすべての患者様が、良質の医療の恩恵にあずかれるよう心がけていきたいと考えております。

専門分野

循環器内科

心臓電気生理



内科

大蔵 美幸 医師
おおくら みゆき



眼科

赤木 好男 医師
あかぎ よしお



内科

福岡 良友 医師
ふくおか よしとも



整形外科

石川 正洋 医師
いしかわ まさひろ



脳神経外科

福光 龍 医師
ふくみつ りゅう



整形外科

貝澤 幸俊 医師
かいざわ ゆきとし



食生活を見直しましょう



1977年、アメリカで「アメリカ合衆国上院栄養問題特別調査委員会報告書」というものが発表されました。この報告書は、アメリカ上院議員のジョージ・マクガバンが委員長であったため「マクガバン・レポート」と呼ばれて世界中に大きな衝撃を与えました。それは5000ページにわたる膨大なレポートで、3000人もの専門家により7年間の時間をかけて調査研究がなされたものです。誰も否をとるなえることの出来ないほど、完璧なものであったと言われていました。

この報告書の中で、生活習慣病のほとんどの原因は食事であり、穀物や野菜を中心にした食生活に改めるべきだと提言しています。さらに、元禄時代以前の日本の伝統的な食事（玄米等の全粒穀物が主食だった）こそが最も理想であると言及しているのです。

それによって、アメリカやヨーロッパなどでは日本の伝統食が見直され、今やほとんどの国のスーパーマーケットで、日本の米、豆腐、海苔、醤油、味噌といった食材を簡単に手に入れることができ、世界の有名なレストランの料理長も、日本食を勉強することが一種のステイタスとなっているのです。

ところが当の日本では、それから34年余り経っているにも関わらず、相変わらずの食の洋風化が進められ、心筋梗塞、脳梗塞、糖尿病、癌などの、戦前の日本にはほとんどなかった病気がうなぎ登りに増え続けているのです。

それでも世界一の長寿国という地位を保っていますが、これはまだ大正・昭和

の初期生まれの人達、子供の頃に粗食を食べていた人達がいるおかげです。これから後、老衰で亡くなるまで元気に過ごし、眠るように亡くなっていける人がどのくらいの割合でいるのか、余り希望の持てる状態ではありません。

現状を見れば原因ははっきり分かっているのです。この飽食の時代を少しバックさせて、生活習慣を見直してみることのでかかなりの病気は減ってくる事でしょう。

まず、早寝早起きをし、年齢や体力に応じて適度に働き（運動し）、疲れたらサプリメントや肉などの高カロリー食に頼らずに休み、普段はお米を中心にした和食を食べ、高カロリーな食べ物は、誕生日や記念日など特別な日に食べるものとします。

そして、食品は良質のものを家で調理して食べることに。その時に使用する調味料は、長期間かけて丁寧に造られた物を使うこと（味噌や醤油などは良質の豆と塩を使い長期間発酵させた物）。塩は置いておくと固まる（ミネラルを飛ばしてサラサラにしていない）物、砂糖は三温糖や麦芽糖、てんさい糖などを常備しましょう。

そして何より一番大切なことは、なるべく家族揃って楽しく美味しく感謝して食事ができる環境を作ることです。

こういうことも、一度家族みんなで話し合ってみる価値は十分にあると思うのですが……。

（これは私の家内の報告です。家内は調理師です。）



旬の野菜で健康に



■主な効用 動脈硬化・便秘
高血圧・骨の強化

秋の食材といえばきのこ。きのこは低カロリーでビタミン・ミネラル・食物繊維などを豊富に含む食材です。食物繊維は、さつまいもに匹敵するほど含まれ、便秘解消や血中コレステロールの上昇を抑え、動脈硬化を予防します。体の免疫力を高め、ガン細胞の増殖を防ぐβ-グルカンなどの多糖類も多く含まれています。

しいたけ ビタミンDが豊富。エルゴステロールという紫外線にあたるとビタミンDに変わる成分が含まれているため、「生」より紫外線にあたった「干しいたけ」のほうがビタミンDを多く含みます。ビタミンDは、カルシウムの吸収を助け、骨や歯を丈夫にする働きがあります。

えのき ビタミン群が豊富。血中コレステロールを下げる働きがあり、動脈硬化や高血圧の予

防に効果的。中でもビタミンB1が多く含まれているので、エネルギーの代謝を促進しストレスを防ぎ、神経系の機能を正常に保ちます。

しめじ カリウムや鉄、ビタミンB2、ビタミンD、アミノ酸が豊富。特にビタミンB2は、他のきのこより多く含まれています。動脈硬化、肥満予防に最適。また、ぶなしめじには、免疫力を高め発ガン物質を抑える作用があります。

まいたけ ビタミン類、β-グルカンが豊富。免疫力を高め、ガン細胞の増殖を抑える働きがあります。血圧の上昇を抑えます。

エリンギ きのこの中でも食物繊維を多く含みビタミンD・ビタミンB2・カリウムも豊富です。カリウムには、血圧を調整し、とりすぎた塩分を排出する働きがあります。

(管理栄養士 浅井 美幸)

レシピ たっぷりきのこ炒め

- しいたけとエリンギは薄切りにし、しめじは小房に分け、えのきは3等分に切る。
- フライパンに油をひき、生姜を香りが出るまで炒め、豚ミンチを入れる。肉が炒まったら、きのこ類を加えさらに炒め、しょう油で味付けをする。
- ねぎを加えて出来上がり。



診療案内

診療受付時間

月曜～土曜(水・金曜を除く)
午前 8:00～午後 5:00
水・金曜
午前 8:00～午前 12:00

診療時間

月・火・木・土曜
午前 9:00～午前 12:00
午後 2:00～午後 5:30
水・金曜(午前のみ)
午前 9:00～午前 12:00

休診日

日曜・祝日、水・金曜日午後
夏期休暇・年末年始

整形外科

野尻 正憲
大塚 和史
西谷 江平
高橋 寛
宮田 誠彦
新井 隆三
石川 正洋
貝澤 幸俊

脳神経外科

徳力 康彦
林 純哉
菊田 健一郎
常俊 顕三
福光 龍

外科

林 秀樹
多保 孝典
宮永 克也
木村 哲也
佐々木 正人

形成外科

森本 尚樹

放射線科

坂井 豊彦
村岡 紀昭
清水 幸生
中嶋 美子
竹内 香代

内科

酒井 克哉
東 二郎
荒井 肇
中嶋 元次
森島 繁
大蔵 美幸
天谷 直貴
池田 裕之
福岡 良友

内科(リウマチ膠原病)

東 二郎
梅原 久範

内科(糖尿病)

西教 美千子

内科(血液疾患・痛風)

中村 徹

循環器科

酒井 克哉
森島 繁
李 鍾大
中野 顕

内科(腎臓)

木村 秀樹

内科(人工透析)

三崎 裕史
横山 由就
松田 哲久
横井 靖二
村瀬 詠廉

消化器科

多保 孝典
荒井 肇
大谷 昌弘

呼吸器科

長内 和弘

神経内科

人見 健文
江川 齊宏

眼科

南部 浩隆
赤木 好男

泌尿器科

秋野 裕信
三輪 吉司
石田 泰一

回復期リハビリテーション病棟

大槻 宏和

健診・人間ドック

南 亮

救急患者様は常時受け入れます